

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2009.9.25 No. 54 連絡先 042-555-1911



第6回 横田基地の撤去を求める座り込み

若者も多い国道16号沿いは、情報交流の場に

9月20日(日)、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」は午後1時30分から3時30分まで「座り込み」をフレンドシップパークで行いました。心配された台風の影響もなく暑いくらいの日でした。

参加者からは、「横田基地内のごみ焼却場の環境問題が心配。」との市民からの声を紹介したり、「本土初公開されたF 22は故障があり横田友好祭後、横田基地にとどまっていたが、部品を取り寄せ9月4日、飛び立った。」「10月4日に、『てっきよの会』の総会があるのでご参加を。」などの呼びかけ、参加した方々のそれぞれの活動の報告や自分の思いなどを語り、情報交流の場になりました。

(写真：座り込みする参加者と歩行者。参加者にコーヒーサービスもあります。)



横田基地の撤去を求める西多摩の会

第2回定期総会・記念講演会のお知らせ

日時 2009年10月4日(日) 午後1時30分～4時
会場 羽村市コミュニティーセンター 3Fホール
内容 横田基地の撤去を求める西多摩の会第2回総会
記念講演「戦争の加害者にも被害者にもならないために」
講師 吉田敏浩氏(ジャーナリスト)



会場は羽村市役所(左後)隣り

吉田敏浩氏のプロフィール(出典：フリー百科事典『ウィキペディア』より抜粋)

吉田 敏浩(よしだ としひろ、1957年9月11日-)は、大分県臼杵市出身のジャーナリスト。アジアプレス・インターナショナル所属。明治大学文学部卒業。大学在学中は探検部に所属。

1985年3月から1988年10月まで、ビルマ(現ミャンマー)北部を長期取材し、自らマラリアに感染し生死をさまよう。その記録をNHK番組「回想のジャングル」で発表。記録をまとめた「森の回廊」を出版し、第27回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した。妻と子供(男)2人。

著書[編集]:「森の回廊」、「宇宙樹の森」、「北ビルマ、いのちの根をたずねて」、「命の森の人びと」、「夫婦が死と向きあうとき」、「ルポ戦争協力拒否」、「生と死をめぐる旅へ」、「反空爆の思想」。



横田基地のごみ焼却場や、焼却灰・廃棄物等の処理は安全か?

住民の方から、「横田基地内のごみ焼却場の管理や、焼却灰の処理、その他医療廃棄物などの処理の仕方が心配。」との声が「てっきよの会」に寄せられました。左写真は武蔵村山市域の横田基地内のごみ焼却場です。

ダイオキシンが大きな社会問題になって、日本のごみ焼却施設は不十分ですがダイオキシンの測定値は公表されています。基地内の施設はどうなのでしょう。米軍基地跡地で土壌汚染がよく問題になりますが、環境問題でも、過去・現在の状況をしっかり情報開示してほしいですね。

軍事費を削ろう！ 自公政権の2010年度の軍事費の概算要求は約5兆円 (No. 54 裏面)

2010年度の防衛費（軍事費）の概算要求は、前年度より1432億円増（3%増）の4兆8460億円。（注：SACO関係経費及び米軍再編関係経費のうち地元負担軽減分を除く。）

在日米軍の再編・強化に反対するたたかいは、この秋、大きなヤマ場に！

米軍再編への取組 (防衛省のホームページより)

米軍再編を着実に進めていくため、在沖米海兵隊のグアム移転に係る事業など、関連措置を的確に実施。

地元の負担軽減等に資する措置

- 在沖米海兵隊のグアム移転 (注)「真水」事業とは、我が国の直接的な財政支援による司令部庁舎等の施設整備をいい、民活事業とは、米軍人家族住宅及び電力等インフラにつき、民間事業者を選定の上、出資等を行い、効率的に供給する事業をいう。
 - ・ 「真水」事業の実施
 - ・ 民活事業【新規】等

国内での再編関連措置

- ・ 普天間飛行場のキャンプ・シュワブへの移設
- ・ 嘉手納飛行場以南の土地の返還
- ・ 相模総合補給廠の一部返還等
- ・ 厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐等
- ・ 嘉手納飛行場等所在米軍機の本土への訓練移転
- ・ 地域振興策（再編交付金）

【地元の負担軽減に資する措置の要求額は前年度同額の890億円で仮置き。

この他に、地元負担軽減関連施設整備等について184億円を概算要求。】

抑止力の維持等に資する措置【131億円】

- ・ キャンプ座間への陸上自衛隊中央即応集団司令部の移設
- ・ 横田飛行場への航空自衛隊航空総隊司令部等の移設

SACO関係経費

- 日米安全保障協議委員会（「2 + 2」）共同文書による変更がないものについては、引き続きSACO最終報告に盛り込まれた措置を着実に実施（前年度同額の114億円で仮置き。）

*在沖米海兵隊のグアム移転に日本国民の税金を使うなんてとんでもないし、普天間飛行場のキャンプ・シュワブ（辺野古）への移設も反対が圧倒的で、アセスメント中止のたたかいは大きく広がっています。もちろん抑止力の維持は時代おくれ。座間基地や横田基地の日米一体化・基地強化は、平和に反します。

神奈川県でも、米軍住宅の基地外建設が大きな問題になっています！

「横田基地ミニ情報 No. 53」で、「横田基地が拡大？米軍住宅が羽村に出現した！」の記事を載せましたが、神奈川平和委員会から「米軍住宅の基地外建設は、実質的な米軍基地の拡張であり、米兵犯罪の危険ゾーンの拡大として神奈川でも大問題です。」とのメールと写真をいただきました。



いただきました。

3階建、この広さ、いったい何戸になるのでしょうか。エクアドルでは米軍基地が完全撤退しました。

日本も基地撤去を！

